

SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ

用語集



ORACLE



SPARC

マニュアル番号 : C120-E514-05
Part No.: E28928-01
2012 年 3 月

Copyright © 2007, 2012 オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社 All rights reserved.

オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的所有権を所有または管理しています。これらの製品、技術、および本書は、著作権法、特許権などの知的所有権に関する法律および国際条約により保護されています。

本書およびそれに付属する製品および技術は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社およびそのライセンサーの書面による事前の許可なく、このような製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本製品またはそれに付随する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は、オラクル社および富士通株式会社の一部、あるいはそのいずれかの関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも示すものでもありません。

本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、または提供者からオラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社へライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

GPL または LGPL が適用されたソースコードの複製は、GPL または LGPL の規約に従い、該当する場合に、お客様からのお申し込みに応じて入手可能です。オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社にお問い合わせください。

この配布には、第三者が開発した構成要素が含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに由来しています。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。

富士通および富士通のロゴマークは、富士通株式会社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、オラクル社および / またはその関連会社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

SPARC64 は、Fujitsu Microelectronics, Inc. および富士通株式会社が SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

United States Government Rights - Commercial use. U.S. Government users are subject to the standard government user license agreements of Oracle and/or its affiliates and Fujitsu Limited and the applicable provisions of the FAR and its supplements.

免責条項：本書または本書に記述されている製品や技術に関してオラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に規定されている保証に限ります。このような契約で明示的に規定された保証を除き、オラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われたいものとします。このような契約で明示的に規定されていないかぎり、オラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社は、いかなる法理論のもと第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

本書は、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われたいものとします。

目次

はじめに	iii
英数字順	1
五十音順	7

はじめに

本書では、オラクルまたは富士通の SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバのマニュアルで使用されている用語を定義しています。

サーバ名やマニュアル名は、読みやすさのため、省略されていることがあります。たとえば、「M9000 サーバ」と書かれている場合は「SPARC Enterprise M9000 サーバ」、『XSCF リファレンスマニュアル』と書かれている場合は『SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ XSCF リファレンスマニュアル』を表します。

本書をお読みにする前に、ご使用のサーバの『製品概要』をお読みにすることを勧めます。

本書の公開時点では、XCP1100 がインストールされたサーバを前提に記載しています。

この XCP 版数は、すでに最新ではない、またはご使用のサーバにインストールされている版数とは異なる場合があります。ファームウェアの最新情報を入手するために、ご使用になっているファームウェアに対応したプロダクトノートと、最新版のファームウェアに対応したプロダクトノートを参照してください。

ここでは、以下の項目について説明しています。

- [対象読者](#)
- [関連マニュアル](#)
- [表記上の規則](#)
- [CLI \(コマンドライン・インターフェース\) の表記について](#)
- [マニュアルへのフィードバック](#)

対象読者

本書は、コンピュータネットワークおよび Oracle Solaris オペレーティングシステム (Oracle Solaris OS) の高度な知識を有するシステム管理者を対象にして書かれています。

関連マニュアル

ご使用のサーバに関連するすべてのマニュアルはオンラインで提供されています。

マニュアル	リンク
Oracle Solaris OS などの Sun Oracle 製ソフトウェア関連マニュアル	http://www.oracle.com/documentation
富士通マニュアル	http://jp.fujitsu.com/platform/server/sparcenterprise/manual/
オラクル社の M シリーズサーバマニュアル	http://www.oracle.com/technetwork/documentation/sparc-mseries-servers-252709.html

以下の表は関連するマニュアルです。

SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ関連マニュアル
SPARC Enterprise M3000 サーバ 設置計画マニュアル
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバ 設置計画マニュアル
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ 設置計画マニュアル
SPARC Enterprise 19 インチラック搭載ガイド
SPARC Enterprise M3000 サーバ はじめにお読みください (*1)
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバ はじめにお読みください (*1)
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ はじめにお読みください (*1)
SPARC Enterprise M3000 サーバ 製品概要
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバ 製品概要
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ 製品概要
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 Servers Important Legal and Safety Information (*1)
SPARC Enterprise M3000 Server Safety and Compliance Guide / 安全に使用していただくために
SPARC Enterprise M4000/M5000 Servers Safety and Compliance Guide / 安全に使用していただくために
SPARC Enterprise M8000/M9000 Servers Safety and Compliance Guide / 安全に使用していただくために
External I/O Expansion Unit Safety and Compliance Guide / 安全に使用していただくために
SPARC Enterprise M4000 Server Unpacking Guide / 開梱の手引き (*1)
SPARC Enterprise M5000 Server Unpacking Guide / 開梱の手引き (*1)
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ 開梱の手引き (*1)
SPARC Enterprise M3000 サーバ インストールガイド
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバ インストールガイド
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ インストールガイド
SPARC Enterprise M3000 サーバ サービスマニュアル
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバ サービスマニュアル
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ サービスマニュアル
PCI ボックス インストール・サービスマニュアル
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ アドミニストレーションガイド
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ XSCF ユーザーズガイド
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ XSCF リファレンスマニュアル
SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ Dynamic Reconfiguration (DR) ユーザーズガイド
SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ Capacity on Demand (COD) ユーザーズガイド
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ プロダクトノート (*2)
SPARC Enterprise M3000 サーバ プロダクトノート
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバ プロダクトノート
SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバ プロダクトノート
PCI ボックス プロダクトノート
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ 用語集

*1: このマニュアルは、印刷されています。

*2: XCP1100 以降

表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を、特別な意味を持つものとして使用しています。

字体または記号	意味	記述例
AaBbCc123	ユーザーが入力し、画面上に表示される内容を示します。 この字体は、枠内でコマンドの入力例を示す場合に使用されます。	XSCF> adduser jsmith
AaBbCc123	コンピュータが出力し、画面上に表示されるコマンドやファイル、ディレクトリの名称を示します。 この字体は、枠内でコマンドの出力例を示す場合に使用されます。	XSCF> showuser -p User Name: jsmith Privileges: useradm auditadm
『』	参照するマニュアルのタイトルを示します。	『SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ XSCF ユーザーズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、項、ボタンやメニュー名を示します。	「第2章 システムの特長」を参照してください。

CLI（コマンドライン・インターフェース）の表記について

コマンドの記載形式は以下のとおりです。

- 値を入力する変数は斜体で記載
- 省略可能な要素は [] で囲んで記載
- 省略可能なキーワードの選択肢は、まとめて [] で囲み、| で区切り記載

マニュアルへのフィードバック

本書に関するご意見、ご要望がございましたら、次のウェブサイトからお問い合わせください。

- オラクル社のお客さま
<http://www.oracle.com/goto/docfeedback>
- 富士通のお客さま
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/sparcenterprise/manual/>

英数字順

19 インチラック

SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000 サーバ、または PCI ボックスを搭載するためのラック。

AC セクション (ACS)

電源入力用端子板、メインラインスイッチ等で構成される電源供給ユニット。

ACS

AC Section の略。
「AC セクション (ACS)」を参照。

Active Directory

ユーザー資格情報の認証、およびネットワークリソースへのユーザーアクセスレベルの認可を提供する分散ディレクトリサービス。Active Directory および LDAP/SSL はいずれも、認証を利用し、ユーザーがシステムリソースにアクセスする前にユーザーの身元を確認し、また、ユーザーに特定のアクセス権限を与えて、ネットワークリソースに対するユーザーのアクセス権を制御する。

add

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「追加 (add)」を参照。

assign

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「割り当て (assign)」を参照。

BP

Backplane の略。
「バックプレーン (BP)」を参照。

BPU

Backplane Unit の略。
「バックプレーンユニット (BPU)」を参照。

BUI

Browser User Interface の略。
「ブラウザユーザーインターフェース (BUI)」を参照。

Capacity on Demand (COD)

「キャパシティオンデマンド (COD)」を参照。

CB

Circuit Breaker の略。
「サーキットブレーカー (CB)」を参照。

CE

Correctable Error の略。
「訂正可能なエラー (CE)」を参照。

CLKU

Clock Control Unit の略。
「クロックコントロールユニット (CLKU)」を参照。

CMU

CPU/Memory Board Unit の略。
「CPU / メモリボードユニット (CMU)」を参照。

CMU チャンネル (CMU-CH)

システムコントロールデバイスをシステムバスに接続するブリッジ。CMU チャンネルは、CMU 上に実装される。SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバは、SCF インターフェースのブート PROM、TTY、I/O 割り込みなどスレーブ運用機能のみを実装している。

CMU-CH

CMU Channel の略。
「CMU チャンネル (CMU-CH)」を参照。

COD

Capacity on Demand の略。
「キャパシティオンデマンド (COD)」を参照。

configure

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「組み込み (configure)」を参照。

connect

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「接続 (connect)」を参照。

CPU コア

CPU チップの分割された処理ユニット。仮想プロセッサ (virtual processor)。

CPU チップ

物理プロセッサ (physical processor)。CPU (Central Processing unit) が搭載された LSI チップ。

CPU モジュール (CPUM)

1 つまたは 2 つの CPU チップを持つモジュール。

CPU / メモリボードユニット (CMU)

SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバで使用され、CPU メモリボード、メモリ、CPU モジュールから構成されるユニット。

CPUM

CPU Module の略。
「CPU モジュール (CPUM)」を参照。

DAT

デジタルオーディオテープ (digital audio tape)。

DC to DC コンバーター (DDC)

DC 入力を他の電圧レベルに変換するコンポーネント。

DCL

Domain Component List の略。
「ドメイン構成情報 (DCL)」を参照。

DDC

DC to DC converter の略。
「DC to DC コンバーター (DDC)」を参照。

delete

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「削除 (delete)」を参照。

disconnect

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「切断 (disconnect)」を参照。

DR

Dynamic Reconfiguration の略。
「動的再構成 (DR)」を参照。

DSCP

Domain SP Communication Protocol の略。

「ドメイン -SP 通信プロトコル (DSCP)」を参照。

DVD バックプレーン (DVDBP)

DVD ドライブ用のバックプレーン。「バックプレーン (BP)」も参照。

DVDBP

DVD Backplane の略。
「DVD バックプレーン (DVDBP)」を参照。

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)

クライアントに対し、伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル (Transmission Control Protocol/Internet Protocol: TCP/IP) ネットワーク上で IP アドレスを自動的に割り当てるソフトウェア。

Dynamic Reconfiguration (DR)

「動的再構成 (DR)」を参照。

Externally Initiated Reset (XIR)

ドメイン上の CPU に対して、ソフト的にリセット信号を送信すること。リセット信号を受信すると、ドメインは OpenBoot PROM 環境に移行し、OpenBoot PROM 環境変数「error-reset-recovery」に設定された値に応じて処理が行われる。

FANBP

Fan Backplane の略。
「ファンバックプレーン (FANBP)」を参照。

FMA

Fault Management Architecture の略。
「故障管理アーキテクチャ (FMA)」を参照。

FRU

Field Replaceable Unit の略。
本体装置の保守の際に保守作業者によって交換可能な部品。

HDD

ハードディスクドライブ。

HDDBP

Hard Disk Drive Backplane の略。
「ハードディスクドライブバックプレーン (HDDBP)」を参照。

I/O コントローラー (IOC)

システムバスと I/O バス (PCI Express (PCIe)) 間のブリッジ。
I/O コントローラーは、SPARC Enterprise M9000 サーバではクロスバー (XB) に接続し、SPARC Enterprise M8000 サーバではシステムコントローラー (SC) に接続する。

I/O バックプレーン (IOBP)

I/O デバイス用のバックプレーン。「バックプレーン (BP)」も参照。

I/O ポート

PCI ボックスに PCI スロットを供給するためのコンポーネント。PCI Express (PCIe) I/O ボードと PCI-X I/O ボードの 2 種類がある。I/O ボード 1 台につき、最大 6 個の PCI スロットが増設できる。PCI ボックスには最大 2 台の I/O ポートが搭載できる。

I/O ボックス

PCI ボックスと同義。PCI ボックスは、プログラムおよびマニュアル中、I/O ボックスと記載されることがある。

I/O ユニット (IOU)

SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバでは、8 個の PCIe スロット、および最大 4 個のハードディスクドライブ (HDD) が搭載可能なユニットを指す。PCIe スロットには、PCI カセットを介して、PCIe カード、内蔵ドライブ接続カード (IOUA)、リンクカードが搭載可能。
SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバでは、PCIe カードと PCI-X カードを搭載可能な I/O ユニット (IOU) を指す。PCI カードは、PCI カセットに搭載した上で I/O ユニットに挿入する。I/O ユニットは 5 台の PCI カセット、4 台の PCIe カセット (上から 4 スロット)、1 台の PCI-X カセット (一番下のスロット) をサポートする。内蔵ドライブを接続する機構はすでに搭載されているが、リンクカードは搭載可能。

install

Dynamic Reconfiguration で使う用語。
「増設 (install)」を参照。

IOBP

I/O Backplane の略。
「I/O バックプレーン (IOBP)」を参照。

IOC

I/O Controller の略。
「I/O コントローラー (IOC)」を参照。

IOU

I/O Unit の略。
「I/O ユニット (IOU)」を参照。

IOUA

IOU Onboard Device Card の略。
「内蔵ドライブ接続カード (IOUA)」を参照。

ISN

Inter SCF Network の略。
「インター SCF ネットワーク (ISN)」を参照。

LDAP

Lightweight Directory Access Protocol の略。
「Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)」を参照。

LDAP/SSL

LDAP ユーザーに対し、Secure Socket Layer (SSL) 技術を介し、LDAP ディレクトリサービスを利用して、ユーザーを認証するための高度なセキュリティを提供する。Active Directory および LDAP/SSL はいずれも、認証を利用し、ユーザーがシステムリソースにアクセスする前にユーザーの身元を確認し、また、ユーザーに特定のアクセス権限を与えて、ネットワークリソースに対するユーザーのアクセス権を制御する。

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)

情報ディレクトリにアクセスするためのプロトコル。LDAP は、X.500 標準に含まれる標準に準拠するが、大幅に簡略化されている。

LSB

Logical System Board の略。
「論理システムボード (LSB)」を参照。

MAC

Memory Access Controller の略。
「メモリアクセスコントローラー (MAC)」を参照。

Management Information Base (MIB)

SNMP エージェント機能用の管理情報データベース。SNMP マネージャからの要求に対して、MIB 情報を返す。

MBU

Motherboard Unit の略。
「マザーボードユニット (MBU)」を参照。

Media Access Control address (MAC アドレス)

ネットワークインターフェースに割り当てられる、全世界を通じて一意なシリアル番号。MAC アドレスの配布は、IEEE により管理されている。

MEMB

Memory Board の略。
「メモリボード (MEMB)」を参照。

MIB

Management Information Base の略。
「Management Information Base (MIB)」を参照。

move

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「移動 (move)」を参照。

NTP

Network Time Protocol の略。
「ネットワークタイムプロトコル (NTP)」を参照。

OpenBoot PROM

構成済みの本体装置の制御を Power-On Self-Test (POST) から取得し、メモリに何らかのデータ構造を構築してから、オペレーティングシステムを起動するソフトウェアの層。IEEE1275 準拠の OpenBoot PROM。

OPNL

Operator Panel の略。
「オペレーターパネル (OPNL)」を参照。

Oracle Solaris OS

ドメインを制御し管理する Oracle Solaris のオペレーティングシステム。

PCI Express (PCIe)

高速シリアル転送インターフェース。PCIe の伝送路の最小構成をレーンと呼ぶ。SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバでは、レーンを 8 本束ねた 8 レーン (x8) でポートが構成されている。ホットプラグに対応している。

PCI カセット

SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバの I/O ユニット (IOU) へ PCI Express (PCIe) カードを搭載するとき使用されるコンポーネント。

PCI キャリア

PCI ボックスへ PCI カードを搭載するとき使用されるコンポーネント。PCI キャリアは、SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバで使用される PCI カセットと機能が似ているが、PCI キャリアと PCI カセットに互換性はない。「キャリア」も参照。

PCI ホットプラグ (PHP)

Oracle Solaris OS 運用中に実行される PCI カードの活性増設または活性削除。

PCI ボックス

SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバに PCI スロットを増設するためのラック搭載型デバイス。PCI Express バスを介して、本体装置の I/O ユニットに接続される。6 枚単位で、最大 12 枚の PCI-X カードまたは PCI Express カードを搭載できる。

PCIe

PCI Express の略。
「PCI Express (PCIe)」を参照。

PCIe スロット

高速シリアル・ポイントツーポイント・インターコネクタ。PCIe の伝送路の最小構成をレーンと呼ぶ。SPARC Enterprise M3000 サーバでは、8 レーン (x8) の PCI Express バスで構成されている。PCI データ転送レートが PCI-X の 2 倍に拡張している。

PCI-X

パラレルバス PCI 規格の高速バージョン。PCI-X バスでは、プロトコルが改良され、クロックレートが引き上げられている。

PHP

PCI Hot Plug の略。
「PCI ホットプラグ (PHP)」を参照。

POST

Power-On Self-Test の略。
「Power-On Self-Test (POST)」を参照。

Power-On Self-Test (POST)

本体装置の電源投入時に、自動的に実行される診断テスト。メモリ、ディスクなどのハードウェアに異常がないかをテストし、OpenBoot PROM に制御が渡される。

PSB

Physical System Board の略。
「物理システムボード (PSB)」を参照。

PSB の分割タイプ

システムボード分割の設定。「Uni-XSB」または「Quad-XSB」のいずれかになる。

PSU

Power Supply Unit の略。
「電源ユニット (PSU)」を参照。

PSU バックプレーン (PSUBP)

電源ユニット用のバックプレーン。「バックプレーン (BP)」も参照。

PSUBP

PSU Backplane の略。
「PSU バックプレーン (PSUBP)」を参照。

Quad-XSB

PSB の分割タイプの 1 つ。PSB を論理的に 4 つに分割したタイプを Quad-XSB という。Quad-XSB は、PSB の分割タイプや状態を説明する際に使用される。

register

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「登録 (register)」を参照。

release

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「登録解除 (release)」を参照。

remove

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「減設 (remove)」を参照。

replace

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「交換 (replace)」を参照。

reserve

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「予約 (reserve)」を参照。

SC

System Controller の略。
「システムコントローラー (SC)」を参照。

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコル。メールサーバ間でメールをやり取りしたり、クライアントがメールサーバにメールを送信したりする際に使用される。

Simple Network Management Protocol (SNMP)

LAN や WAN で接続されたりピータ、ブリッジ、ルータ、スイッチ、その他のネットワーク接続デバイスの構成パラメーターを検証するためのクエリ、コマンド、応答を規定するプロトコル。

SMTP

Simple Mail Transfer Protocol の略。
「Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)」を参照。

SNMP

Simple Network Management Protocol の略。
「Simple Network Management Protocol (SNMP)」を参照。

Solaris OS

ドメインを制御し管理する Oracle Solaris のオペレーティングシステム。

SSH

Secure Shell の略。
「セキュアシェル (SSH)」を参照。

standby-power (予備電源)

本体装置の電源切断後も供給され続ける電源。電源制御系を動作させるために使用される。通常、システム監視機構 (eXtended System Control Facility: XSCF) と電源制御デバイスは予備電源で動作する。

TTY バス

コンソールパスデータを CMU と XSCF 間で転送するシリアルバス。

UE

Uncorrectable Error の略。
「訂正不可能なエラー (UE)」を参照。

unassign

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「割り当て解除 (unassign)」を参照。

unconfigure

Dynamic Reconfiguration で使う用語。「切り離し (unconfigure)」を参照。

Uni-XSB

PSB の分割タイプの 1 つ。PSB が論理的に 1 つだけのユニット (分割されていない状態) のことを Uni-XSB という。PSB の分割タイプを設定する前の初期値である。Uni-XSB は、PSB の分割タイプや状態を説明する際に使用される。

UPC ポート

無停電電源装置 (UPS) を接続するための本体装置の受け側。

UPS

Uninterruptible Power Supply の略。
無停電電源装置 (UPS) を参照。

UPS ケーブル

UPC ポートと UPS 上の UPC インターフェースを接続するケーブル。

UPS コントローラー (UPC)

無停電電源装置を制御するコントローラー。

UPS 上の UPC インターフェース

本体装置と接続するための無停電電源装置 (UPS) の受け側。

way

CPU の数を示す計量の単位。例: 4-way、16-way

XB

Crossbar の略。
「クロスバー (XB)」を参照。

XBU

Crossbar Unit の略。
「クロスバーユニット (XBU)」を参照。

XCP

XSCF Control Package の略。
「XSCF Control Package (XCP)」を参照。

XIR

Externally Initiated Reset の略。
「Externally Initiated Reset (XIR)」を参照。

XSB

eXtended System Board の略。
「拡張システムボード (XSB)」を参照。

XSCF

eXtended System Control Facility の略。
「システム監視機構 (XSCF)」を参照。

XSCF Control Package (XCP)

サービスプロセッサ上で動作するファームウェア。
XSCF、POST、および OpenBoot PROM ファームウェアなどがある。

XSCF Web

XSCF のブラウザユーザーインターフェース (BUI) 機能。XSCF にログインした Web ブラウザで各項目を選択すると、本システムのさまざまな設定/表示を行うことができる。

XSCF シェル

XSCF のコマンドラインインターフェース (CLI) 機能。XSCF にログインしたシェル端末でコマンドを入力すると、本体装置のさまざまな設定/表示を行うことができる。

XSCF ユニット (XSCFU)

独立したプロセッサで動作するユニット。プロセッサには、本体装置のシステム管理機能を持つファームウェアであるシステム監視機構 (XSCF) がインストールされる。

XSCFU

XSCF Unit の略。
「XSCF ユニット (XSCFU)」を参照。

五十音順

アクティブ XSCF

XSCF ユニットが二重化構成となっている場合にシステムを制御している XSCF。アクティブ XSCF ユニットともいう。

アップリンクカード

PCI ボックス内の I/O ポートに搭載されたリンクカード。I/O ユニットに搭載されるリンクカードとは物理的に同じカードだが、I/O ポートに搭載されたリンクカードを「アップリンクカード」と呼ぶことがある。「リンクカード」、「ダウンリンクカード」も参照。

移動 (move)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。ドメインからシステムボードを切り離し、それを他ドメインに組み込む一連の動作。

インスタントアクセス CPU

ヘッドルームと同義。

インター SCF ネットワーク (ISN)

アクティブ XSCF とスタンバイ XSCF の間を通信するネットワーク。XSCF ユニットが冗長構成のときに使用される。

エントリーレベルサーバ

SPARC Enterprise M3000 サーバ。

オペレーターパネル (OPNL)

本体装置の状態を示す LED、POWER スイッチ、モードスイッチなどがあるパネル。

拡張システムボード (XSB)

物理的な部品から構成される。XSB では、PSB は 1 つのユニット全体 (分割されていない状態) または 4 つの分割ユニットのことを指す。XSB はドメインの構築や表示などの単位であり、論理的なユニットの名称としても使用される。

活性交換

ドメインまたはサーバを停止せずに、FRU を交換すること。Oracle Solaris OS コマンドまたは XSCF コマンドを使用して FRU を非稼働中の状態にするか、電源を切断する必要がある。

活性増設

ドメインまたはサーバを停止せずに、FRU を増設すること。

活電交換

交換対象の FRU が属するドメインが停止した状態で FRU を交換すること。

活電増設

交換対象の FRU が属するドメインが停止した状態で FRU を増設すること。

監査 (audit)

システムリソースの利用に関するデータの収集。監査では、セキュリティ関連のシステムイベントが記録される。

監査イベント

監査対象となるセキュリティ関連のシステムアクション。イベントはクラスに分類される。

監査クラス

監査イベントのグルーピング。監査クラスは、監査の対象となるセキュリティ関連のシステムイベントのグループを選択するための手段を提供する。

監査トークン

監査レコードの 1 つのフィールドのこと。監査トークンには、ユーザー権限のような監査イベントの属性が記述されている。

監査トレール

本体装置に記録されている一連の監査ログ。監査トレールは、監査ツールを使用して、解析することができる。

監査ファイル

監査記録が格納されたログ。

監査ポリシー

管理者が有効または無効にできる監査オプションのセット。監査オプションには、記録するイベントを指定するオプション、特定の種類の監査データを記録するかどうかを指定するオプション、さらに、監査トレールがいっぱいになった場合に監査処理を中断するかどうかを指定するオプションなどがある。

監査レコード

監査ファイルに格納される監査データ。1つの監査レコードには、1つの監査イベントが記述される。各監査レコードは、監査トークンから構成される。

キャパシティオンデマンド (COD)

1つもしくは複数の COD CPU という形で SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ用の予備的な処理リソースを構成することができる機能。追加の処理能力が必要となったときに、予備リソースを有効にできる。M3000 サーバでは COD 機能はサポートしていない。

これらの COD CPU を利用するには、COD 許諾を購入する必要がある。特定の条件下では、COD 許諾を購入する前に COD リソースを使用することができる。

『SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ Capacity on Demand (COD) ユーザーズガイド』を参照。

キャリア

リンクカードまたは PCI カードを PCI ボックスに搭載するときに使用されるコンポーネント。リンクカードを取り付けたキャリアを「リンクキャリア」、PCI カードを取り付けたキャリアを「PCI キャリア」と呼ぶことがある。PCI カセットの機能と似ているが、キャリアと PCI カセットは互換ではない。

切り離し (unconfigure)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。ドメインの OS に組み込まれたシステムボードをドメインや OS から切り離し、割り当てられた状態または割り当て解除された状態にすること。

組み込み (configure)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。ドメインの OS に割り当てられたシステムボードを組み込んで利用可能な状態にすること。

クロスバー (XB)

システムコントローラーと I/O 間のデータ転送を制御するスイッチ ASIC。

クロスバーユニット (XBU)

CPU / メモリボードユニットと I/O ユニットの接続を論理的に切り替えるためのユニット。SPARC Enterprise M9000 サーバだけに搭載される。

クロックコントロールユニット (CLKU)

CPU / メモリボードユニットやクロスバーユニットへクロックを供給するためのユニット。SPARC Enterprise M9000 サーバだけに搭載される。

減設 (remove)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードを取り外すこと。

コア

「CPU コア」を参照。

交換 (replace)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードを取り外して交換すること。

故障管理アーキテクチャ (FMA)

サービスプロセッサからの故障訴求措置 (indictment) を生成するアーキテクチャ。エラー処理 (error handling)、故障診断 (fault diagnosis)、回答 (response)、の3つのシステム動作を提供する。

サーキットブレーカー (CB)

SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバで使用される、AC ケーブルを接続する外部のブレーカー (たとえば、分電盤やコンセントボックス等)。サイト・サーキットブレーカーともいう。

サービスプロセッサ

システムの制御、監視を行うために用意された専用のプロセッサ。サービスプロセッサ内には XSCF ファームウェアがインストールされている。

削除 (delete)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードをドメインから切り離す (割り当て解除する) こと。

システム監視機構 (XSCF)

サービスプロセッサ上で動作するファームウェア。システムプラットフォームの制御機能と監視機能を備えている。

システムコントローラー (SC)

CPU、メモリ、I/O 間を接続し、キャッシュコヒーレンスを制御する ASIC。

システム制御ネットワーク

システム管理者用の管理コンソールに XSCF ユニット (XSCFU) を接続するネットワーク。

システムボード

システムボードは、SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバでは、CPU / メモリボードユニット (CMU) 上の CPU とメモリ、および I/O ユニット (IOU) 上の I/O デバイスから構成される。SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバではマザーボードユニット (MBU) 上の CPU モジュールとメモリボード、および I/O ユニット (IOU) 上の I/O デバイスから構成される。システムボードはその構成により、PSB モードまたは XSB モードに分類される。SPARC Enterprise M3000 サーバでは、マザーボードユニット (MBU) 上の CPU とメモリ、および PCIe スロット上の PCIe カードから構成される。

シャーシシリアル番号 (CSN)

本体装置を特定するシリアル番号。シャーシシリアル番号は、システム筐体正面および右側面のラベル上に印刷されている。この番号は、サービスプロバイダがハードウェアエラーイベントおよび保守アクションを該当する本体装置に関連付けるときに使用される。

縮退 (degraded)

異常の発生により切り離された 1 つの FRU、FRU のグループ、あるいは FRU の一部の状態を指す。通常、切り離しは、異常発生が疑われるコンポーネントがシステムの他のコンポーネントに影響を及ぼすことを防ぐために行われる。必ずしも故障部品のみが切り離されるとは限らず、故障部品を切り離すために正常な部品が縮退される場合もある。また、システムの運用に必須の機能が縮退した場合、結果としてシステム停止となる場合もある。

スタンバイ XSCF

XSCF ユニット (XSCFU) が二重化構成となっている場合、アクティブ XSCF ユニットのバックアップとして動作している XSCF ユニット。スタンバイ XSCF ユニットともいう。

スレッド (thread)

CPU コアやマルチスレッディング CPU チップ内の、ソフトウェアで認識できるハードウェアの最小単位。

セキュアシェル (SSH)

ユーザーがネットワーク経由で別の本体装置にログインし、リモートマシン上でコマンドを実行したり、1 つのマシンから別のマシンにファイルを移動させたりできるようにするソフトウェアプログラム。セキュアシェルは、安全でないチャンネル間に強力な認証と安全な通信を実現する。

接続 (connect)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。搭載済みシステムボードを電氣的に接続すること。システムボードは接続によりモニタリングできるようになる。

切断 (disconnect)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードの電氣的接続を切ること。ボードは、切り離されると、モニタリングができなくなる。

増設 (install)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードをドメインの OS に組み込むこと。

ダウンリンクカード

I/O ユニットに搭載されたリンクカード。PCI ボックス内の I/O ボードに搭載されるリンクカードとは物理的に同じカードだが、I/O ユニットに搭載されたリンクカードを「ダウンリンクカード」と呼ぶことがある。「リンクカード」、「アップリンクカード」も参照。

ダミーパネル / ボード

使用されていないスロットまたはスペースに挿入するパネルやボード。これらを取り付けることにより、システム内の冷却空気の漏れを防止できる。

追加 (add)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードをドメインに割り当てまたは組み込むこと。

テープドライブバックプレーン (TAPEBP)

テープドライブユニット用のバックプレーン。「バックプレーン (BP)」も参照。

テープドライブユニット

磁気テープ上に格納されるデータの読み出しと書き込みを行うテープデバイス。

停止交換

本体装置の電源を切断してから FRU を交換すること。停止交換時には、すべての種類の FRU を交換できる。

停止増設

本体装置の電源を切断してから FRU を増設すること。停止増設時には、すべての種類の FRU を増設できる。

訂正可能なエラー (CE)

CPU、メモリまたは I/O の訂正可能なエラー。通常、失敗した動作を繰り返す (メモリへの書き込みなど) ことによって問題が解決する。

訂正不可能なエラー (UE)

DIMM マルチビットエラーなどの訂正不可能なメモリエラー。

デバイスシリアル番号

FRUID PROM に格納された、出荷コンポーネントごとに割り当てられるシリアル番号。

電源ユニット (PSU)

AC 入力を受け、複数種類の電圧を出力するユニット。

登録 (register)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。ドメイン構成情報 (DCL) にシステムボードを登録すること。

登録解除 (release)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。ドメイン構成情報 (DCL) からシステムボードの登録を解除すること。

動的再構成 (DR)

ドメインの電源を落とさずにそのドメインからシステムボードを論理的に着脱することを可能にするソフトウェア。これにより、ドメインで Oracle Solaris OS を実行中に、システムボードを論理的に (したがって物理的にも) 組み込んだり、取り外したりすることが可能になる。

ドメイン

独立したシステムとして機能する 1 つまたは複数のシステムボードのセット。本体装置は共有されるが、ドメインごとにオペレーティングシステムをインストールし、独立したシステムとして稼働させることができる。

各ドメインは、ドメインに割り当てられた論理システムボードで構成される。さらに、各ドメインはハードウェアパーティションごとに電氣的に絶縁されているため、1 つのドメインに故障が発生しても、本体装置内の他のドメインには影響を与えない。

ドメイン ID (DID)

ドメイン識別子。

ドメイン -SP 通信プロトコル (DSCP)

サービスプロセッサとドメインの間で、ユーザーレベル間の TCP/IP ソケットタイプの通信を実現するプロトコル。この通信は、他のソフトウェアコンポーネントが行うメールボックスタイプの通信のために行われる。

ドメイン構成情報 (DCL)

ドメインを構築するためのシステムボードのリスト。

内蔵ドライブ接続カード (IOUA)

SPARC Enterprise サーバの筐体に CD-RW/DVD-RW ドライブユニットやテープドライブユニットを搭載するためのオプション。

二系統受電

高信頼システム用の受電形態で、電力の供給ラインが二系統に分かれている方式のこと。一方の供給ラインが停止した場合でも、もう片方の供給ラインによりシステムの運転を続けることができる。

ネットワークタイムプロトコル (NTP)

Oracle Solaris OS 時刻と、リモートホスト時刻との同期化をサポートするプロトコル。

ハードディスクドライブバックプレーン (HDDBP)

ディスクドライブ用のバックプレーン。「バックプレーン (BP)」も参照。

ハイエンドサーバ

SPARC Enterprise M8000 または SPARC Enterprise M9000 サーバ。

パスワードポリシー

パスワードの作成および維持管理のための一連のルール。

バックプレーン (BP)

他の回路基板が接続できるソケット一式を内蔵した回路基板。バックプレーンソケット上のピンは、プリント配線トレースによって相互に接続される。このトレースにより、回路基板上のコンポーネントは、接続された他の基板のコンポーネントに信号を分配することが可能になる。

バックプレーンユニット (BPU)

複数のユニットを接続するためのソケットを内蔵したユニット。SPARC Enterprise M4000 サーバの BPU は、電源バックプレーンと I/O バックプレーンから構成され、SPARC Enterprise M5000 サーバの BPU は電源バックプレーン、I/O バックプレーン、バスバーから構成される。

ファームウェア

本体装置を制御するソフトウェア。SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバには、OpenBoot PROM、Power-On Self-Test (POST)、システム監視機構 (XSCF) がある。ファームウェアは、XSCF Control Package (XCP) というパッケージで提供される。

ファンバックプレーン (FANBP)

ファン用のバックプレーン。「バックプレーン (BP)」も参照。

フェイルオーバー

アクティブなサービスプロセッサがスタンバイサービスプロセッサに制御を渡すプロセス、またはスタンバイサービスプロセッサがアクティブなサービスプロセッサから制御を引き継ぐプロセス。どちらの場合も、それまでのスタンバイサービスプロセッサがアクティブになり、アクティブなサービスプロセッサがスタンバイになる。

物理システムボード (PSB)

物理的な部品から構成されるボードで、1CMU + 1IOU または 1CMU などの形式で構成される。SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバでは、CMU は MBU に搭載される。PSB はハードウェアの物理的な増設/減設/交換単位を指すために使用される場合がある。PSB は、1つの分割されていないユニットまたは4つの分割ユニットの形で使用される。

ブラウザユーザーインターフェース (BUI)

グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) と同様。ただし、ブラウザ経由でアクセスされる。

ヘッドルーム

十分な数の COD 許諾がない場合に、本体装置ごとに最大4つの COD CPU を使用するための機能。「インスタントアクセス CPU」と同義。ヘッドルームは特定の条件下で利用可能となる。

マザーボードユニット (MBU)

SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000 サーバで、他のボードやコンポーネントが接続されたメインボードアセンブリ。SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバにはマザーボードアセンブリはなく、システムボードがある。

ミッドレンジサーバ

SPARC Enterprise M4000 または SPARC Enterprise M5000 サーバ。

無停電電源装置 (UPS)

電源故障や大規模な停電が発生した場合でも本体装置に電力を安定的に供給する装置。

メインラインスイッチ

SPARC Enterprise M8000/M9000 サーバの筐体内部にある電源スイッチ。複数個あるメインラインスイッチをすべて投入/切断することは、分電盤やコンセントボックス等などの外部のブレーカーを投入/切断することと同じ意味を持つ。

メモリアクセスコントローラー (MAC)

メモリアクセス制御機能を提供する ASIC。システムコントローラー ASIC の指示でメモリアクセスを実行する。

メモリボード (MEMB)

SPARC Enterprise M4000/M5000 サーバで使用され、メモリモジュールが搭載されたボード。

モードスイッチ

システムモードの「locked」と「service」を切り替える、オペレーターパネル上の物理的キースイッチ。

ユーザーアカウント

ユーザーと本体装置、ネットワークまたは情報サービスとの間に構築された関係を指す用語。ユーザーアカウントには、ユーザーがログインを行い、システムを使用するために必要とする情報が含まれる。

ユーザー権限 (Privileges)

ユーザーに与えられるアクセス権。与えられたユーザー権限によって、システム全体またはドメインに対して実行できる操作が制限される。ユーザー権限には、useradm、platadm、platom、domainadm、domainmgr、domainop、auditadm、auditop、fieldeng、none がある。詳細については、『SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ XSCF ユーザーズガイド』を参照。

ユーザーネットワーク

I/O ユニット (IOU) に搭載した IOU Onboard Device Card_A (IOUA) もしくは LAN カードを介して、ユーザーがシステムにアクセスできるネットワーク。

予約 (reserve)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードを、ドメインの電源が次回投入されるときに追加または削除する対象として予約すること。

リンクカード

I/O ユニット (IOU) と PCI ボックス内の I/O ポートを接続するために使用されるインターフェースカード。I/O ポートに搭載されたリンクカードを「アップリンクカード」、I/O ユニットに搭載されたリンクカードを「ダウンリンクカード」と呼ぶ場合がある。

リンクケーブル

ホストサーバのリンクカードと PCI ボックスのリンクカードを接続するためのインターフェースケーブル。

ロープロファイル

PCI カードの規格の 1 つ。ロープロファイルカードは、カードスロットのスペースが限られているホストサーバ向けに提供される小型の PCI カードである。

論理システムボード (LSB)

ドメイン構築時に、ドメイン側から認識できる論理番号 (LSB 番号) を割り当てられたシステムボード。1 つのドメインは、最大 16 の論理システムボードで構成される。ドメイン側からは論理システムボード番号によって、システムボードを識別する。

割り当て (assign)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。システムボードをドメインに割り当てること。

割り当て解除 (unassign)

Dynamic Reconfiguration で使う用語。ドメインに割り当てられたシステムボードの割り当てを解除すること。